

# 凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第19号 2023.10.6(金)

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続  
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』  
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

**生徒指導(10月)目標「揃え方(整頓)」～自分と学校を整える～**

## 揃え方(整頓)意識が行動の始まり

①履物の乱れに気づく ②教室の乱れに気づく ③自ら気づき自ら動く

**夢実現・自己実現に向けて～「自分が源泉」という物事の見方・考え方～**

「自分にはそのとき、何ができたのだろうか?」という視点を持ち、チームの一員として、チームのため仲間のため、謙虚な心で自分と向き合える人になっていきたいものです。先週の生徒指導通心18号では、女子バレーボール日本代表を率いる真鍋政義監督とニュースキャスターとの対談をもとに話しました。通心19号では、その中で出てきた「自分が源泉」という言葉に焦点を当てながら、みなさんへ伝えたいことを発信します。

自分が源泉とは・・・

困難はその人に起こるべくして起こるものです。そのとき、それを作り出しているのは自分であると考えてみるのが「自分が源泉」の考え方です。この考え方は、強烈なパワーをもっています。なぜなら、自分が創った結果なら自分で創り直せるからです。あなたの周りで起こるすべての出来事の主導権は、みなさんにあるのです。

**真に聞く耳を持つ～自分の側にも問題があると思えば多くの難題は解決が早い～**

自分の間違いや欠点を指摘されるのは、誰もあまり気分のいいものではありません。人から正面切ったの注意を受けると、内心ではつい嫌な気分になって反発したり、言い訳したり、人のせいにしたり、といったことは誰もあることではないかと思えます。しかしそんな時こそ、自らの感情の動きにとらわれず、素直な心で耳を傾けることが大切なのではないでしょうか。親や兄弟の身内ならともかく、他人が面と向かって間違いや欠点を言ってくれることはあまり多くはないでしょう。言わなくてもいいことを言って、わざわざ嫌がられることはないだろうというのが世間一般的な考え方なのかもしれぬ。

そんな中で、あえて言いにくいことを言ってくれる家族や先生たち、仲間の存在は、本当にありがたいものです。その声に耳を傾け、一時の感情に左右されずに指摘された間違いを理解しようとすることで、よりよき自分へと成長する歩みも始まるのではないのでしょうか。これは、みなさん子供だけではなく、私たち大人も一緒です。不快なことを言われても、それが真実なら受け入れるのが「真に聞く耳をもつ」ということで、素直な心で聞くということも、実はそんな姿を言うのではないのでしょうか。みなさんの周りには、家族や先生たち、地域の方々などたくさんの大人がいます。困ったとき、悩んだとき、腹が立つとき... たくさん話をしていきましょう。

**「夢実現・自己実現」コーナー 心動かされるディズニー映画 くまのプーさん**

“A little consideration, a little thought for others, makes all the difference.”

「他人への少しの思いやりと、少しの気遣いが、全ての違いを生むんだ!!」